

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 38

水沢消防記念館

(水沢区字日高小路)



①

① 貴重な馬引き蒸気ポンプ。石炭を燃やしてから放水できるまで7分程度要した(写真は平成18年の日高火防祭)



②



③

② 江戸時代に作られた手動ポンプ。水鉄砲を応用した簡単な構造③昭和39年まで活躍したベント社製ポンプ車。40馬力で最高速度は時速約80km

水

沢の街を焼き尽くすような大火を繰り返した藩政時代、藩主の留守村影は家臣の佐々木佐五平を江戸へ派遣し、町火消しによる消防の仕組みを学ばせました。佐五平は帰郷後「臥煙組」という火消し組を創設し、消防力の向上にその生涯をささげました。

この古い歴史をもつ水沢の消防にあって、藩政時代からの貴重な資料を今に伝えているのが消防記念館です。昭和45年に旧水沢市が建設し、全国的にも例がない記念館といわれました。日高神社境内の北端ある鉄骨造りの簡素な建物の中には、過酷な現場に身をさらした歴史ある消防機材が、ひっそりとその体を休めるように置かれています。特に貴重さと存在感でほかを圧倒するのが、大正2年製造の蒸気ポンプと大正13年購入のベント社製消防ポンプ自動車です。



蒸気ポンプは斎藤實が旧水沢町に寄贈し、現存しているのは全国で3台のみといわれています。馬が引いて移動する方式です。ベント社は、その名のとおりドイツから輸入され、当時の価格で1万2750円(大卒初任給は50円前後)したそうです。

消防記念館といえば、日高火防祭とかかわりがはずせません。記念館の見学は予約制ですが、毎年4月29日(午前10時〜午後3時)には一般公開されています。ことは蒸気ポンプも往時の姿そのままに、まとい振りの隊列に参加します。祭りに火防の願いを込めながら、先人の苦労をしのびます。

◆開館日時 常時開館ではないため、見学希望の2日前までに要予約。入館無料

◆予約・問い合わせ 水沢総合支所消防防災室(☎242111内線217)へ

家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質



新築・リフォーム住宅に関するご相談はお気軽に。

パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付!

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL: 0197-22-3111 FAX: 0197-22-3120

お問合せ・ご相談は ☎ **0120-516-812**
<http://www.takasou.net/>